

委員会等の会議録

1 会議名	令和7年度愛南町健康づくり推進懇話会	
2 議題	(1) 健康増進計画推進状況報告 (2) 保健センター利用状況報告 (3) その他	
3 開催日時	令和8年3月4日(水) 13時30分から14時40分まで	
4 開催場所	愛南町役場 2階 第1会議室	
5 傍聴者数	0人	
出席者		
6 委員氏名	澤近 弘、宮田 幸昇、猪野 ユカリ、前田 和紀、 蓮本 由美子、保村 由加里、増崎 菜摘、中平 美枝 (欠席)吉田 幸稔	
7 担当所属	所属名	保健福祉課
	担当職員 (職・氏名)	課長 中川 菊子 課長補佐 荒地 ミドリ、長田 亜紀 上級言語聴覚士 大黒 啓示 上級保健師 森岡 芙々紀 管理栄養士 清家 陽奈 保健師 藤田 夏海 主事 伊井 伸安
8 その他の 出席職員	所属名	なし
	出席職員 (職・氏名)	なし
議事内容(次ページから)		

発言者	発言内容
中川課長	(開会挨拶)
荒地課長補佐	<p>それでは、お手元の資料の確認をお願いします。前もって郵送した資料1から4までと、本日の次第、懇話会要綱、委員名簿です。皆様のお手元に資料はありますか。</p> <p>では、会次第に従って進めます。会議の終了後には会議録を作成し、町のホームページで公開することとなっています。会議録の作成と公開については、事務局に御一任いただいてもいいですか。</p>
委員一同	(了承)
荒地課長補佐	<p>会議録は、会の終了後 14 日以内に町のホームページに公開しますので、御覧ください。なお、ボイスレコーダーで録音しますので、発言の際にはマイクを使用していただけたいと思います。要綱を御確認ください。</p> <p>(懇話会について資料に基づき説明) (委員の紹介)</p>
荒地課長補佐	協議事項に入ります。協議事項(1)愛南町健康増進計画進捗状況報告について事務局から説明します。
長田課長補佐 藤田保健師	(協議事項(1)愛南町健康増進計画進捗状況報告について説明)
荒地課長補佐	事務局から説明のありました内容につきまして、御意見、御質問はありますか。
猪野委員	<p>「愛顔のハート、学び体験」について、今年度、宇和島保健所管内では3か所の市町で一緒に実施しております。希望のあった学校で実施させていただいて大変好評を得ていますが、子供だけの教室ではなく、保護者に参加してもらおうところがこの講座のポイントです。</p> <p>平城小学校の講座には私も一緒に参加しましたが、「カップラーメンのスープを飲んではいけない」ということについて、分かっているが家庭ではなかなか言っても聞かないところを、今回の健康教育の中で「塩分6グラム」がすごくインプットされて「カップラーメンは、麺は食べていいけど、スープは飲まない方が塩分の取り過ぎにならないことが理解できた」という感想が得られていました。非常にインパクトがあったのだと思います。</p> <p>保健所としては、やって終わりではなく、1年後くらいに、そういった意識がどれくらい根付いているかという評価もアンケート等でさせてもらいながら、広めていきたいと思っています。</p>

	<p>講座に使用する物品は県内で使い回しているため、希望があれば、なるべく早くお声掛けいただければ有り難いと思います。</p>
森岡上級保健師	<p>御意見ありがとうございました。来年度については、小学校の養護部会でも積極的に取組の話を進めていただいていますので、また一緒に実施できたらと思います。よろしく申し上げます。</p>
荒地課長補佐	<p>生活習慣病予防というところで、個別健診等でお世話になっている澤近先生、何かお気付きの点はありませんか。</p>
澤近委員	<p>健診は、個別健診に来られる方が増えてきています。後は役場で拾い上げていただいた方が何人か来られているので、そういった方がもう少し増えたらうれしいと思います。</p> <p>家族で広がるというより、個々に点でつながっている感じがあり、健診で引っ掛かった方とか、うちに掛かっていて個別健診を受けるという方が多くなっているのも、もう少し家族に広がったらいいなと思っています。</p>
荒地課長補佐	<p>家族を含めて、皆で健診を受けるというような意識を伝えていこうと思います。ありがとうございます</p> <p>歯科の方から、宮田先生、御意見いただけたらと思います。</p>
宮田委員	<p>先日、町外の患者さんから、一般企業の検診で歯科の検査項目が増えるかもしれないという話を聞きました。</p> <p>その患者さんは、あまり興味がなかったらしく、項目が増えるというだけで「面倒くさい」とか「もうそういうものはやめてほしい」「ちょっとむし歯があったからって、痛くなかったら歯医者に行く気はない」などと言われていました。いろいろお話をして、むし歯の治療や歯周病予防の大切さをお伝えすると、「そういう知識が自分には全然ないから、勉強する機会があるととてもうれしい」と言われて、本当に貴重な意見を頂きました。</p> <p>先ほどの上原先生の講演会のように、例えば保護者とお子さんとは皆合わせて、勉強する機会などが増えたら、いろいろな人に興味を持っていただいて、歯科の受診率が上がったり、自分の口の中が気になって歯医者に行く機会が増えたりするのではないかと思うので、そういう勉強の場がどんどん増えればいいなと思いました。</p>
荒地課長補佐	<p>ありがとうございます</p> <p>歯周疾患検診の啓発はしていますが、歯科に関する健康教育となると、地区組織リーダーや保育所の園児と保護者というところで、若い方、働いている方に対して、口腔ケアの学習の機会が少ないと感じました。若い世代の方、働き盛りの方にも、歯科に関する広報・啓発をしていこうと思います。ありがとう</p>

<p>蓮本委員</p>	<p>ございます。 食生活改善推進員の皆さんにも、健康づくりに御協力いただいております。御意見いただけますか。</p> <p>私たち食生活改善推進協議会も、上原先生の講習会に何度も参加させていただいて、いつも良いお話をしてくださっています。</p> <p>同じ人ばかりではなくて、ほかの地域に行って、私たちにしてくださる話を、地域や、年齢層の高い人、若い人、(様々な人にしてはどうでしょうか。)それと、幼稚園に入られると言われたのですが小学校にも入るのですか。親子で口腔衛生の話などというものはいいのですか。</p>
<p>荒地課長補佐</p>	<p>小学校では、フッ素洗口と併せて学校で教育をしていただいております。</p>
<p>蓮本委員</p>	<p>そういった話が広がっていったらいいなと思います。</p> <p>食改の活動では、郷土料理など古きよき献立の普及も活動に入っていますが、郷土料理は割と味が濃いです。市販のものもやはり味が濃いです。それを、味が濃いということ認識して、味を抑えるとか、油を使うものは控えるなどの工夫をして、今風な郷土料理にできればと考えています。勉強会でもなるべく塩分、糖分控えめな料理、添加物も気になるところなので、体に良いことを考えて、活動しております。</p>
<p>荒地課長補佐</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>保村委員</p>	<p>健康推進員の研修では、様々な分野の研修をさせていただきました。ゲートキーパーや歯科の話等、参考になることばかりで、初めて聞くことが多かったです。ただ、ほかの推進員の皆さんとも話していたのですが、学習したことを、自分や家族には生かせるけど、次への広がりがなかなか持てないことにジレンマを感じています。</p> <p>この前の研修の時に食改さんとグループが一緒に、食改さんは地域の中で一緒に料理をするという活動が多くて、そこでお話しするというのを聞いて、歴史のある食改さんの力だなと思いました。</p> <p>健康推進員さんの中には、よそから来られて間もない方や、地域とのつながりが少ない方も多くて、そこからどうつながっていくかということがなかなか難しいなと思います。</p> <p>私は、所属しているボランティアグループで話す機会があったので、ゲートキーパーのパンフレットをメンバーに配布しました。研修会に参加して、自分はすごく勉強になって、自分はよくなるのですが、広がっていくのが難しいなと思うので、よければ少しパンフレットなどを多めに頂けたら、思い付いたときに、気軽にすぐ渡せるのかなと思います。</p>

<p>荒地課長補佐</p>	<p>食育推進大会など、勉強する場がいろいろありますが、その地域だけになっているので、いろいろな所に呼び掛けてもいいのかなというのが感想です。以上です。</p> <p>ありがとうございます。また、(健康)推進員さんの地域での活動の場も考えていこうと思いますので、よろしく願います。</p> <p>子育て推進員さんから、御意見いただけますか。</p>
<p>増崎委員</p>	<p>失礼します。子育て推進員は、今 15 名ほどの方で活動をしていて、その中で二人が子育て中で、私もその一人です。</p> <p>子育て推進員として初回の研修会の時に、愛南町で実施されている、妊婦健診などの妊娠後の町の制度、おむつ券など、こういう制度がありますよという話がありました。</p> <p>私たちのように子育てをしている方々は知っていますが、それ以外の方は「知らなかった」という感想しかなくて、今どういことをしてるのか、たくさん質問を受けました。子育て支援センターも利用していますが、その場所も知らない方がたくさんいらっしゃいました。年配の方にも、今後お孫さんができたときや、県外の家族が帰ってきて、愛南町で子供を育てたいという方がいたときにどうしたらいいか聞かれると思うので、広報等で啓発をしてもらえたらなというのが一つの提案です。</p> <p>また今年、息子の 5 歳児健診があり、集団面接(集団遊び)を受けました。保育園に通わせていますが、周りのお友だちと比べて成長は大丈夫だろうかと心配に思っていたので、5 歳児健診で集団行動(集団遊び)を実施してもらったことは有り難いなと思っています。</p> <p>子育て支援センターを利用中に何人かの妊婦さんと会話をする機会があり、先ほど報告の中にあつた妊婦情報事前登録制度について、活用されていないという方が何人かいらっしゃいました。その理由として、救急車はやはり病気の方や、本当に大変な人が優先して使うべきで、本当に自分が使っているのかという不安があるためと聞きました。個人的には、私がもし今妊娠して、そういう制度があるというお知らせを受けたら、登録はしても、実際使うかとなると迷うところがあります。</p> <p>妊娠、出産に当たって、出産場所まで車で 1 時間掛かるので、救急車に乗っている間に出産された経験のある方もいらっしゃるようです。それが怖くて次の子を作るのがちょっと怖いという方もいらっしゃいました。</p> <p>愛南町には県立南宇和病院が大きい病院としてありますが、そこに一人でも助産師さんに常駐していただいて、救急車に乗っている 40 分から 1 時間の間に助産師さんに付いていただければ、妊婦さんはすごく気が楽になるのではないかなと思います。助産師を見付けることも大変だとは思いますが、産婦人科があつたということは聞いたこともありますし、検討いただけないかなと思います。</p>

	<p>また昨日、もぐもぐ教室(離乳食講座)に参加して、お父さんたちにも参加してもらいたいなと感じました。初めてのお子さんだと何もかもが分からないので、お父さんにも一緒に勉強してもらえたらなと思います。仕事も忙しいとは思うのですが、教室のある日だけはなるべく参加してもらって、夫婦で勉強してもらえたらいいなと思いました。</p> <p>子育て推進員の皆さんともまたお話をさせてもらいますが、分からない、知らなかったという声が多かったので、その情報が愛南町の一人でも多くの方に伝わればなと思います。</p>
<p>荒地課長補佐</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>母子保健の制度について、子育て中の方や妊婦さんには、丁寧に説明をしていますが、そのほかの方に対しても、心掛けて周知をしていきたいと思っています。</p> <p>また、制度があっても使うことをためらってしまう方がいるということで、その気持ちに耳を傾けることや、お父さんを含めた教育にも力を入れていきたいと思っています。たくさんの御意見をありがとうございました。</p> <p>公民館でも、健康づくりの活動をしていただいていると思いますが、御意見よろしいでしょうか。</p>
<p>前田委員</p>	<p>公民館としましてもこの健康増進計画の推進に当たって、健康づくり教室や交流活動を通じて、地域住民の健康づくりを支えていけたらと思っております。</p>
<p>荒地課長補佐</p>	<p>よろしく申し上げます。</p> <p>事業所からいかがでしょうか。</p>
<p>中平委員</p>	<p>町でいろいろ活動していただいているので、各々の職場で年々意識は上がってきていると思います。JAでは、会議等の場で所長から健康に関する話をしています。</p> <p>私は女性部の担当をしています。女性部は職員ではないのですが、厚生連の人間ドックを「あいなんドック」として実施していただいているのがとても好評です。それまでは町の検診を受けていたけど、もっと詳しく調べたいという方が何名かいらっしやって、初年度に12、3名で行きました。そのときに病気が見付かったという方もいらっしやいました。昨年もまた何名か受診していただきまして、やはり話が広がるのが一番いいことだと思いました。今年も5月に何名か行くようになっていて、送迎バスも出るので職員も何名か同行しようと思っています。</p> <p>こういう機会があると、町がこれだけの事業をやっている、補助もこれだけ出してくれているということを知ることができたという方もおられました。</p>
<p>森岡上級保健師</p>	<p>ありがとうございました。今年度も20名ほどがあいなんドックを受けられています。一般の方や、仕事を退職されたばかり</p>

<p>荒地課長補佐</p>	<p>の方など、健診のついでに、CTなどの詳しい検査も受けていこうかという方にはちょうどいいのかなと思います。場所が松山なのでどうしても遠方にはなりますが、それでも行くという方が結構いらっしゃるの、また広がればいいなと思います。今後ともお願いします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>では続きまして、協議事項(2)愛南町保健センターの利用状況報告について、事務局から説明します。</p> <p>愛南町は、町民の健康の保持増進と福祉の向上を目的として、御荘と内海地域を除く三つの地域に保健センター又は保健福祉センターを設置し、利用時間や休館日、利用条件などについて、愛南町保健福祉センター条例に定めています。それでは、各センターの利用状況や今後の施設利用について報告します。</p>
<p>伊井主事</p>	<p>(城辺保健福祉センターについて説明)</p> <p>施設については、土日祝日、年末年始を除いて開館しております。利用状況について、総利用者は、令和6年度と比べ令和7年度は101人増加となっております。センター行事、浴室利用者は減少していますが、保健福祉関係の団体等の会議及び研修等での施設利用の増加が理由だと考えられます。</p> <p>令和7年度には使用禁止にしていた屋外複合遊具の更新工事、トイレ改修工事を実施しております。今後の施設利用につきましましては、設備が老朽化していますが、各機器の点検を毎年実施することにより、適切な維持管理を行っていききたいと考えております。</p> <p>令和8年4月から愛南町児童発達支援センターを併設し、おれんじくらぶが療育サービスを提供するほか、相談支援事業や研修会などを実施する予定となっております。</p> <p>(一本松保健センターについて説明)</p> <p>施設につきましましては、令和5年3月27日から役場一本松支所が保健センターで業務を開始しました。そのため、健診等で使用することはなくなりましたが、任意団体の活動や、南愛媛療育センターの障害児発達支援などの活動を行っております。</p> <p>休館日、開館日につきましましては、城辺保健福祉センターと同様になっております。利用状況について、昨年に比べ、総利用者数が大幅に増えております。これは支所が保健センターに移転したことにより、選挙の期日前投票所として使用したことが大きな要因となっております。</p> <p>今後の施設利用につきましまして、引き続き未利用室の利用促進を図るため、該当団体等に周知するなどして、施設の有効活用に努めていくために、整備の徹底と運営を行っていききたいと考えております。</p> <p>(西海保健福祉センターについて説明)</p> <p>施設につきましましては、自立した高齢者が入居する食事サービス付きの高齢者生活福祉センターとデイサービスを行う愛南町</p>

	<p>社協通所介護施設が同じ建物に併設されております。</p> <p>休館日、開館日につきましてはほかのセンターと同様になっております。利用状況につきましては、令和6年度に比べ、令和7年度は564人減少しています。この減少は、社協通所介護施設においては僅かに増加しているのですが、高齢者生活福祉センターの入居者の空き状況のためだと考えております。現在、当施設には一室の空きがありますが、来月募集し、随時入居手続を進める予定です。</p> <p>今後の施設利用につきましては、施設や設備の老朽化が進んでいますが、空調設備、ボイラー、非常用発電機などの点検を毎年実施し、適切な維持管理を行っていきたいと考えております。</p>
荒地課長補佐	<p>事務局から説明がありました内容について御意見、御質問はありませんか。</p>
委員一同	<p>(意見なし)</p>
荒地課長補佐	<p>続きまして、その他について、何かありませんか。</p>
委員一同	<p>(なし)</p>
荒地課長補佐	<p>それでは、事務局から1件御報告いたします。</p> <p>今年度新たに配属した、言語聴覚士の活動報告について説明をお願いします。</p>
大黒上級 言語聴覚士	<p>愛南町役場保健福祉課で言語聴覚士として勤務しています大黒啓示といいます。この場をお借りして、言語聴覚士が愛南町でどのような活動をしているのか、来年度以降、どのような活動を考えているか、お伝えできればと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>言語聴覚士は、言葉、発音、聞こえ、発達の評価と支援に加えて、声や発声、摂食嚥下の専門的なアセスメントを行う職種とされています。また必要に応じて訓練や、相談支援も行い、乳幼児から高齢者まで幅広い方を対象として活躍、活動しています。全国的に見ると、言語聴覚士の就職先は医療機関が最も多く、約7割が病院や診療所など医療分野で勤務しています。次いで特別養護老人ホームなどの高齢者福祉が20%、福祉施設が7%から8%、教育機関が1%未満となっています。</p> <p>言語聴覚士の多くは、医療機関や福祉の現場で働いていて、私のように行政に常勤で配置されているケースというのは、愛媛県だけでなく全国的にも非常に少ない状況です。ちなみに愛媛県では、現在289名が県の言語聴覚士会に登録していますが、その中で行政に配属されている言語聴覚士は、松山にありますが県の松山こども相談室と愛南町だけだと聞いています。</p> <p>行政に言語聴覚士が所属するということには大きなメリット</p>

があると思っています。行政は、乳幼児健診や保育所、学校、地域のサロン、高齢者支援など、住民の生活に密着して幅広い領域を担っています。行政に言語聴覚士がいるということで、乳幼児から高齢者まで切れ目のない支援が可能になるといった強みがあると思います。また、保育所、学校、医療、福祉と全ての関わりを持つ立場にあるので、そこに所属することで、関係機関をつなぐ地域支援のハブとしての役割も果たせるのではないかと考えています。

令和7年度の活動の実績です。

乳幼児健診や個別相談が49件、保育所やおれんじくらぶ等の訪問が81件、保育所でのおはなし会が4件、学校の就学相談会の依頼が10件、地域の介護予防教室等のおはなし会が10件となっています。

乳幼児健診では、「ことばと聞こえの相談」というブースを設けて、保護者の方の不安や疑問に丁寧に対応しています。家庭で取り入れられる関わり方や声掛けの工夫など、すぐに実践できるアドバイスを心掛けています。

保育所等訪問では、気になる子供の行動を観察し、保育士と一緒に関わり方を検討しています。日常場面での言葉の引き出し方や環境調整の工夫など、保育士と一緒に支援を考える時間を大切にしています。

おはなし会は、保育所の参観日や地域の子育て広場で、保護者に向けて、言葉の育ちや関わり方のポイントをお伝えしています。専門的な内容ですが、できるだけ簡単に伝えて、家庭での実践のしやすさを意識しています。

介護予防教室は、地域のサロンで摂食嚥下や口腔ケア、口腔体操などの話をして、参加者の皆さんと一緒に、楽しく笑いながら取り組める時間を作っています。楽しく参加できるという場所が、社会参加や地域のつながりづくりにもつながっているのではないかと考えています。

次に、来年度に向けて取り組むべき課題です。

未就学児の支援、関わりの時間は、今年度たくさん作ることができましたが、その子たちが就学した後、小学校中学校での困りごとや、先生方がどのように支援をしたらいいのかというところの支援が今後必要であると思っています。

また、摂食嚥下の評価です。訓練等もできますので、その方の口腔機能がどれほどあるかという評価も、広げていけたらと思っています。

令和8年度の目標です。

先ほどお話がありました児童発達支援センターと、学校との連携の強化、二つ目に地域全体の相談のしやすさの土台づくりを意識していけたらと思っています。

令和8年度、児童発達支援センターが設置され、本格的に機能していきます。このセンターの設置により、私自身が今年度十分に整えることができていない就学児やその保護者、学校への支援の入り口が開いていくのではないかと考えています。

	<p>言語聴覚士の支援領域が見える化する上で、学校の先生方が知りたいのは、その子がどのような状況にあり、何が得意で、どこに困り感を感じているのかという点だと思います。発達検査の数字そのものではなく、その子をどう理解し、どう関わっていけばいいのかという、支援の方向性を少しでも明確にしていくことだと思います。そのために来年度は、検査の数字だけでなく、先の支援の見通しをどのように伝えるか、就学前後の情報共有を十分に行えるか、学校現場での気づきを支援につなげることができるのかというところを意識していきたいと思っています。</p> <p>高齢者の飲み込みに関する相談等も含めて、相談のしやすさという土台づくりも大切にしていきたいと思っています。</p> <p>令和8年度は未確立だった領域を一つ整えて、乳幼児から高齢者まで切れ目のない支援体制を作る1年にしたいと思っています。</p> <p>今年度の活動を通して、行政に言語聴覚士が所属するという意味や、地域の中で求められている支援の形を少しずつ見付けていくことができたと思います。乳幼児健診、保育所、学校、地域のサロンなど、それぞれの場で見えてくる気づきをつないで、必要な支援につなげていくことが大切な役割だと思っています。児童発達支援センターの設置を追い風に、就学時支援や摂食嚥下の領域など、これまで十分に整えられなかった部分を少しずつ形にしていき、愛南町の子供から高齢者まで誰もが安心して暮らせる支援体制を作りたいと思っています。</p> <p>駆け足になりましたが、以上で令和7年度の活動報告を終わります。御清聴ありがとうございました。</p>
荒地課長補佐	事務局から説明のありました内容について御意見、御質問はありますか。
保村委員	愛南町に言語聴覚士が所属され、とてもうれしく思っています。聴覚の方の支援させてもらっていますので、とても心強く思っています。 活動の中で、高齢者施設に行かれることはあるのでしょうか。
大黒上級 言語聴覚士	今のところありません。
保村委員	活動範囲に入るかちょっと分からないのですが、私が活動する中で、施設の中に聞こえない方、言語が手話の方がおられました。職員さんとのコミュニケーションがうまくいかない状況がちょっとありまして、そういう方の支援も視野に入れていただけたら有り難いと思います。環境を整えるというところで、またうまく支援していただけたらと思いますので、よろしくお願ひします。

<p>大黒上級 言語聴覚士</p>	<p>貴重な意見ありがとうございます。 聞こえの部分も、言語聴覚士の守備範囲になっていますので、施設、グループホームなどに入所している方に対しての口腔ケアや嚥下機能向上など、職員への啓発等もできたらということは常々思っています。 私一人の力ではすぐに提供は難しいと思いますが、大学や研修のつながりで仲間からの助言を得て地域に返していく場が今後できたらと思います。とても参考になります。ありがとうございます。</p>
<p>荒地課長補佐</p>	<p>ありがとうございます。 ほかに御意見はありますか。</p>
<p>澤近委員</p>	<p>貴重な発表ありがとうございます。 言語聴覚士の先生と働く機会があまりなかったので、とても心強く思っています。 先ほどの保健福祉センターでもあったと思いますが、児童発達支援センターは具体的にどういう形で、おれんじくらぶがそれを担うんだろうと漠然と思っています。移転もしてくると伺っていますし、それこそ言語聴覚士の先生も入ってこられたので、どういう形であるのか、もし分かれば教えていただきたいです。</p>
<p>中川課長</p>	<p>4月から城辺保健福祉センターに児童発達支援センターを新たに開設します。相談機能と療育の機能を持ち、療育の機能をおれんじくらぶが、相談機能を、兼務にはなりますが大黒さんはじめ相談できる専門職で対応していきたいと思っています。 具体的にどういったことをするのかといったところは、今後にはなるのですけれども、今お話がありましたように、乳幼児期だけではなくて就労を控える年代の方まで、切れ目なく支援ができるようにといったところで考えております。</p>
<p>大黒上級 言語聴覚士</p>	<p>現在もおれんじくらぶを訪問させてもらって、個別、集団療育での子供との関わり方や教材等を確認して、発達状況に応じた療育、教材などの情報提供はずっとさせてもらっています。距離も近くなりますし、職員同士も交流できやすくなるので、そこはもっともっと強くなっていく部分かなという認識はあります。</p>
<p>荒地課長補佐</p>	<p>その他ありませんでしょうか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>(意見なし)</p>
<p>荒地課長補佐</p>	<p>以上で本日の検討事項は全て終了しました。皆様、積極的に意見を出していただきありがとうございます。 以上をもちまして、令和7年度愛南町健康づくり推進懇話会</p>

	を終了します。本日はありがとうございました。
--	------------------------